

国民健康保険制度の広域化をやめ、 国民健康保険税の引下げを求める請願

〔請願趣旨〕

「富める者が富めば貧しいものにも、自然と富が滴り落ちる」—トリクルダウンの理論です。法人税減税、大企業優遇策の根拠とされています。

市民レベルの生活は、年金が下がり、社会保障の「改悪」で生活水準は低下しています。

広域化問題は、国庫補助の引下げと窓口負担増の危険を孕んでいます。国民健康保険制度の問題は、雇用破壊、老人破産、中小企業の衰退と不可分の事態にあり、貧困問題としてとらえることが大切です。

国民健康保険は、他の医療保険に入ることができない非正規労働者や年金者、低所得者など全ての人が加入する「医療保険の最後の砦」です。町田市は資格書の発行件数も三多摩地域でトップクラスです。生活苦に追いつちをかけ、人権や命を脅かす「命の格差」はあってはなりません。

国民健康保険制度の再建は、「先ず自治体から」の立場で改善を求めます。

〔請願項目〕

- 1、広域化をやめ、保険税の引下げを求めます。
- 2、資格書発行は直ちに止めること。
- 3、保険税滞納者には従来にまして、適正な助言と指導をおこなうこと。